

表 7-4 は、年齢別の学習の効果をみたものです。

「1 学校の授業で学習したこと」は、年齢が下がるほど学習経験者の比率が高くなり、あわせて、「理解が深まった」という比率も高くなっています。なお、70 歳代以上では「学習したことはない」比率が 36.8%にのびります。

「2 職場の研修で学習したこと」では、10 代の回答者の多くが学生であることから経験者の比率が低くなっています。「3 地域の研修で学習したこと」では、20 歳代から 60 歳代へ年齢が高いほど経験者の比率が高く、「理解が深まった」比率も徐々に高くなっています。「4 P T A など各団体の研修会で学習したこと」は、50 歳代から 60 歳代において、他の年代よりも経験者の比率が高く、「理解が深まった」比率も高いことがわかります。

表 7-4

		合計	理解が深まった	理解が深まった	覚えていない	学習したことはない	統計的検定
1 学校の授業で学習したこと	10歳代	128	82.0%	9.4%	8.6%	0.0%	p<.001 ***
	20歳代	175	53.7%	11.4%	34.3%	0.6%	
	30歳代	176	55.7%	12.5%	28.4%	3.4%	
	40歳代	193	52.8%	14.5%	30.6%	2.1%	
	50歳代	216	46.3%	14.8%	31.0%	7.9%	
	60歳代	251	31.5%	11.2%	39.8%	17.5%	
	70歳代以上	204	17.2%	5.9%	40.2%	36.8%	
	合計	1343	45.6%	11.5%	31.9%	10.9%	
2 職場の研修で学習したこと	10歳代	122	4.1%	0.8%	6.6%	88.5%	p<.001 ***
	20歳代	175	22.3%	5.1%	13.1%	59.4%	
	30歳代	175	28.6%	5.7%	13.1%	52.6%	
	40歳代	190	27.9%	6.8%	15.8%	49.5%	
	50歳代	213	32.9%	6.6%	16.0%	44.6%	
	60歳代	253	33.2%	5.9%	16.2%	44.7%	
	70歳代以上	208	23.1%	10.1%	12.5%	54.3%	
	合計	1336	26.1%	6.2%	13.8%	53.8%	
3 地域の研修で学習したこと	10歳代	122	9.0%	0.8%	12.3%	77.9%	p<.001 ***
	20歳代	175	3.4%	1.7%	11.4%	83.4%	
	30歳代	173	5.8%	1.2%	9.8%	83.2%	
	40歳代	192	15.1%	3.1%	17.7%	64.1%	
	50歳代	211	19.0%	5.7%	8.5%	66.8%	
	60歳代	248	20.2%	8.5%	14.5%	56.9%	
	70歳代以上	208	23.6%	9.1%	13.0%	54.3%	
	合計	1329	14.7%	4.8%	12.6%	67.9%	
4 P T A など各団体の研修会で学習したこと	10歳代	122	5.7%	0.8%	9.0%	84.4%	p<.001 ***
	20歳代	175	1.7%	1.7%	11.4%	85.1%	
	30歳代	174	10.3%	1.7%	8.0%	79.9%	
	40歳代	191	22.0%	1.6%	16.2%	60.2%	
	50歳代	212	25.5%	7.1%	9.4%	58.0%	
	60歳代	249	22.5%	10.4%	15.7%	51.4%	
	70歳代以上	204	17.6%	7.8%	11.3%	63.2%	
	合計	1327	16.3%	5.0%	11.9%	66.8%	

つづき

		合計	理解が深まった	理解が深まった	覚えていない	学習したことはない	統計的検定
5 三田市人権を考える会「三田幸せプロジェクト」で学習したこと	10歳代	122	1.6%	0.8%	6.6%	91.0%	p=.019 *
	20歳代	175	0.0%	1.1%	9.1%	89.7%	
	30歳代	174	5.2%	0.0%	4.0%	90.8%	
	40歳代	192	5.7%	1.0%	6.3%	87.0%	
	50歳代	213	4.7%	1.9%	4.2%	89.2%	
	60歳代	249	6.4%	0.0%	6.0%	87.6%	
	70歳代以上	202	3.5%	3.0%	4.5%	89.1%	
	合計	1327	4.1%	1.1%	5.7%	89.0%	
6 「人権と共生社会を考える市民のつどい」で学習したこと	10歳代	122	0.8%	0.0%	6.6%	92.6%	p=.046 *
	20歳代	174	0.0%	1.1%	8.0%	90.8%	
	30歳代	174	4.6%	0.0%	4.0%	91.4%	
	40歳代	192	5.7%	0.5%	6.3%	87.5%	
	50歳代	212	3.3%	1.4%	5.2%	90.1%	
	60歳代	249	4.8%	0.0%	7.2%	88.0%	
	70歳代以上	204	3.4%	2.5%	5.9%	88.2%	
	合計	1327	3.5%	0.8%	6.2%	89.5%	
7 「啓発講座」等で学習したこと	10歳代	121	3.3%	0.8%	6.6%	89.3%	p=.147
	20歳代	174	1.1%	1.1%	7.5%	90.2%	
	30歳代	174	5.2%	1.1%	4.0%	89.7%	
	40歳代	192	8.3%	1.0%	7.3%	83.3%	
	50歳代	212	7.1%	0.9%	4.7%	87.3%	
	60歳代	249	8.4%	0.8%	8.0%	82.7%	
	70歳代以上	203	7.4%	3.0%	6.9%	82.8%	
	合計	1325	6.2%	1.3%	6.5%	86.0%	
8 その他の機会での学習したこと	10歳代	121	24.8%	2.5%	13.2%	59.5%	p=.387
	20歳代	174	16.1%	1.7%	14.9%	67.2%	
	30歳代	175	13.7%	2.3%	14.3%	69.7%	
	40歳代	192	21.4%	2.1%	18.2%	58.3%	
	50歳代	212	18.9%	1.9%	13.7%	65.6%	
	60歳代	250	15.6%	3.6%	19.6%	61.2%	
	70歳代以上	208	17.3%	2.9%	20.2%	59.6%	
	合計	1332	17.9%	2.5%	16.7%	63.0%	

職種別の学習効果についてはデータは省略しますが、「1 学校の授業で学習したこと」は、学生において「理解が深まった」が高く、他の学習機会では、総じて、公務員・教員の人々の「理解が深まった」比率が高くなっています。

表 7-5 は、地区別の学習効果をみたものです。統計的に有意な関連のみ表示しています。

表 7-5

		合計	理解が深まった	理解が深まった	覚えていない	学習したことはない	統計的検定
3 地域の研修で学習したこと	三田地区	150	15.3%	3.3%	12.7%	68.7%	p<.001 ***
	三輪地区	175	18.3%	7.4%	12.0%	62.3%	
	広野地区	54	35.2%	3.7%	20.4%	40.7%	
	小野地区	28	21.4%	14.3%	7.1%	57.1%	
	高平地区	34	50.0%	5.9%	8.8%	35.3%	
	藍地区	24	8.3%	20.8%	16.7%	54.2%	
	本庄地区	23	47.8%	17.4%	17.4%	17.4%	
	フラワータウン地区	263	10.3%	4.2%	14.1%	71.5%	
	ウッディタウン地区	416	9.6%	2.2%	10.8%	77.4%	
	カルチャータウン地区	45	6.7%	6.7%	6.7%	80.0%	
	つつじが丘地区	81	17.3%	6.2%	11.1%	65.4%	
合計	1293	15.0%	4.9%	12.2%	67.9%		
4 P T A など各団体の研修会で学習したこと	三田地区	150	17.3%	2.0%	12.7%	68.0%	p<.001 ***
	三輪地区	173	17.9%	8.1%	15.6%	58.4%	
	広野地区	56	33.9%	1.8%	16.1%	48.2%	
	小野地区	28	21.4%	17.9%	17.9%	42.9%	
	高平地区	34	32.4%	8.8%	5.9%	52.9%	
	藍地区	24	16.7%	8.3%	25.0%	50.0%	
	本庄地区	22	31.8%	4.5%	27.3%	36.4%	
	フラワータウン地区	263	14.4%	4.6%	12.2%	68.8%	
	ウッディタウン地区	415	10.8%	4.3%	9.6%	75.2%	
	カルチャータウン地区	45	15.6%	6.7%	4.4%	73.3%	
	つつじが丘地区	81	23.5%	3.7%	4.9%	67.9%	
合計	1291	16.5%	5.0%	11.8%	66.7%		
5 三田市人権を考える会「三田幸せプロジェクト」で学習したこと	三田地区	150	5.3%	0.7%	7.3%	86.7%	p=.008 **
	三輪地区	174	4.0%	1.7%	5.7%	88.5%	
	広野地区	54	3.7%	0.0%	7.4%	88.9%	
	小野地区	28	0.0%	3.6%	7.1%	89.3%	
	高平地区	33	9.1%	0.0%	6.1%	84.8%	
	藍地区	24	4.2%	4.2%	20.8%	70.8%	
	本庄地区	22	13.6%	0.0%	22.7%	63.6%	
	フラワータウン地区	264	3.0%	2.3%	4.5%	90.2%	
	ウッディタウン地区	417	3.6%	0.5%	4.3%	91.6%	
	カルチャータウン地区	43	2.3%	0.0%	2.3%	95.3%	
	つつじが丘地区	82	8.5%	1.2%	4.9%	85.4%	
合計	1291	4.3%	1.2%	5.7%	88.8%		
6 「人権と共生社会を考える市民のつどい」で学習したこと	三田地区	150	6.0%	1.3%	7.3%	85.3%	p=.007 **
	三輪地区	174	2.9%	0.6%	5.7%	90.8%	
	広野地区	54	5.6%	0.0%	9.3%	85.2%	
	小野地区	28	3.6%	3.6%	10.7%	82.1%	
	高平地区	34	2.9%	0.0%	8.8%	88.2%	
	藍地区	24	4.2%	4.2%	20.8%	70.8%	
	本庄地区	22	18.2%	0.0%	18.2%	63.6%	
	フラワータウン地区	263	1.9%	1.1%	5.7%	91.3%	
	ウッディタウン地区	417	3.6%	0.5%	4.3%	91.6%	
	カルチャータウン地区	44	0.0%	0.0%	2.3%	97.7%	
	つつじが丘地区	81	2.5%	1.2%	6.2%	90.1%	
合計	1291	3.6%	0.9%	6.2%	89.4%		
7 「啓発講座」等で学習したこと	三田地区	149	10.1%	1.3%	6.0%	82.6%	p=.006 **
	三輪地区	174	5.7%	0.6%	5.7%	87.9%	
	広野地区	54	11.1%	0.0%	7.4%	81.5%	
	小野地区	28	0.0%	3.6%	7.1%	89.3%	
	高平地区	33	9.1%	0.0%	6.1%	84.8%	
	藍地区	24	16.7%	4.2%	20.8%	58.3%	
	本庄地区	22	22.7%	0.0%	18.2%	59.1%	
	フラワータウン地区	263	2.7%	1.5%	5.7%	90.1%	
	ウッディタウン地区	417	6.0%	1.4%	5.5%	87.1%	
	カルチャータウン地区	44	2.3%	0.0%	6.8%	90.9%	
	つつじが丘地区	81	6.2%	2.5%	6.2%	85.2%	
合計	1289	6.3%	1.3%	6.4%	86.0%		

「3 地域の研修で学習したこと」、「4 P T Aなど各団体の研修会で学習したこと」については、高平地区、本庄地区、広野地区において、他地区よりも経験者の比率が高く、「理解が深まった」の比率も高い傾向にあります。「5 三田市人権を考える会「三田幸せプロジェクト」で学習したこと」、「6 「人権と共生社会を考える市民のつどい」で学習したこと」では、本庄地区において、他地区よりも経験者の比率が高く、「理解が深まった」比率も高くなっています。「7 「啓発講座」等で学習したこと」では、本庄地区と藍地区において、他地区よりも経験者の比率が高く、「理解が深まった」の比率も高くなっています。

### 3. さまざまな人権問題について

**問8 次の「部落差別」に関することがらについて、あなたのお考えを教えてください。  
(それぞれ一つに○をつけてください)**

問8は、部落差別に関する考え方を問う設問です。

表8-1によると、「3 差別を受けてきた地域の人びとには、なんら差別される理由はない」との考えに「そう思う」、「どちらかと言えばそう思う」を合わせた YES の比率が 85.7% と高い比率になっています。しかし、「2 引っ越しをする場合、差別を受けてきた地域かどうか気になる」の考えに「そう思う」、「どちらかと言えばそう思う」を合わせた YES は 36.9% と低いとは言えません。また、「1 そっとしておけば部落差別はなくなる」の考えに YES は 38.0%、「4 部落差別について学習するから差別はなくなる」の考えに YES は 31.8%、「5 今後も部落差別はなくなると思う」の考えに YES は 43.7% と、部落差別の解決に消極的、悲観的な考えも少なくありません。

表8-1の右端は、人権意識が高いほど点数が高くなるように点数化し、平均値を求めたものです。「1 そっとしておけば部落差別はなくなる」、「4 部落差別について学習するから差別はなくなる」、「5 今後も部落差別はなくなると思う」、「7 部落差別などの同和問題を知らない」は、「そう思う」1, 「どちらかと言えばそう思う」2, 「どちらかと言えばそうは思わない」3, 「そうは思わない」4 とし、末尾に（逆）をつけています。「3 差別を受けてきた地域の人びとには、なんら差別される理由はない」、「6 部落差別をなくすために啓発活動に力を入れるべきだ」は、「そう思う」4, 「どちらかと言えばそう思う」3, 「どちらかと言えばそうは思わない」2, 「そうは思わない」1 としています。

項目間で平均値を比較すると、「6 部落差別をなくすために啓発活動に力を入れるべきだ」の平均値が最も低く、次いで、「5 今後も部落差別はなくなると思う・逆」となっています。

また、「1 そっとしておけば部落差別はなくなる・逆」については、2007年調査のデータの平均値も併記しています。それによりますと、2007年調査の3.2から、2020年は2.8へと平均値が下がっており、「そっとしておけば部落差別はなくなる」と考えている人が増えていると解釈されます。

表 8-1

	合計	そう思う	言えち えち ばら そう うと	ど 思 えち ばら そう うと	言えち えち ばら そう うと	そ う は 思 わ ない	無 回 答	平 均 値	調 査 平 均 値 年
1 そっとしておけば部落差別はなくなる・逆	1420	11.3%	26.7%	26.8%	33.2%	2.0%	<b>2.8</b>	<b>3.2</b>	
2 引っ越しをする場合、差別を受けてきた地域かどうか気になる・逆	1420	8.4%	28.5%	25.1%	36.3%	1.8%	<b>2.9</b>		
3 差別を受けてきた地域の人びとには、なんら差別される理由はない	1420	55.6%	30.1%	7.3%	4.6%	2.3%	<b>3.4</b>		
4 部落差別について学習するから差別はなくなる・逆	1420	9.9%	21.9%	34.1%	31.7%	2.5%	<b>2.9</b>		
5 今後も部落差別はなくなると思う・逆	1420	10.4%	33.3%	31.8%	22.2%	2.3%	<b>2.7</b>		
6 部落差別をなくすために啓発活動に力を入れるべきだ	1420	13.4%	40.5%	30.7%	12.5%	2.9%	<b>2.6</b>		
7 部落差別などの同和問題を知らない・逆	1420	8.2%	16.8%	21.9%	50.4%	2.7%	<b>3.2</b>		

表 8-2-1 は、性別による部落差別の考え方の違いをみたものです。

表 8-2-1 において、性差が認められる項目について平均値を求める操作を行います。

表 8-2-2 は、表 8-2-1 において統計的有意差が認められた項目について平均値を求めたものです。

表 8-2-1

		合計	そう 思う	言 え ば そ う と 思 う	ど 思 わ ら な い と	言 え ば そ か と	ど 思 わ な い と	そ う は 思 わ ない	統 計 的 検 定
1 そっとしておけば部落差別はなくなる	男性	621	12.2%	28.7%	22.9%	36.2%	p=.006 **		
	女性	745	11.1%	26.2%	31.4%	31.3%			
	性別未選択者	12	16.7%	0.0%	25.0%	58.3%			
	合計	1378	11.7%	27.1%	27.5%	33.7%			
2 引っ越しをする場合、差別を受けてきた地域かどうか気になる	男性	622	8.5%	27.0%	23.8%	40.7%	p=.238		
	女性	750	8.5%	30.4%	26.9%	34.1%			
	性別未選択者	10	0.0%	40.0%	20.0%	40.0%			
	合計	1382	8.5%	28.9%	25.5%	37.1%			
3 差別を受けてきた地域の人びとには、なんら差別される理由はない	男性	620	55.3%	30.0%	7.9%	6.8%	p=.085		
	女性	742	58.4%	31.5%	7.0%	3.1%			
	性別未選択者	12	58.3%	25.0%	8.3%	8.3%			
	合計	1374	57.0%	30.8%	7.4%	4.8%			
4 部落差別について学習するから差別はなくなる	男性	619	12.4%	22.0%	30.9%	34.7%	p=.020 *		
	女性	741	8.5%	22.0%	38.6%	30.9%			
	性別未選択者	12	0.0%	33.3%	25.0%	41.7%			
	合計	1372	10.2%	22.1%	35.0%	32.7%			
5 今後も部落差別はなくならないと思う	男性	620	12.4%	31.5%	31.6%	24.5%	p=.195		
	女性	743	9.4%	36.2%	33.5%	20.9%			
	性別未選択者	11	9.1%	27.3%	27.3%	36.4%			
	合計	1374	10.8%	34.0%	32.6%	22.6%			
6 部落差別をなくすために啓発活動に力を入れるべきだ	男性	618	17.2%	38.0%	30.7%	14.1%	p=.004 **		
	女性	738	11.1%	44.3%	32.8%	11.8%			
	性別未選択者	10	0.0%	70.0%	10.0%	20.0%			
	合計	1366	13.8%	41.7%	31.7%	12.9%			
7 部落差別などの同和問題を知らない	男性	615	9.4%	17.9%	22.9%	49.8%	p=.376		
	女性	743	7.8%	16.7%	21.9%	53.6%			
	性別未選択者	11	0.0%	9.1%	45.5%	45.5%			
	合計	1369	8.5%	17.2%	22.6%	51.8%			